

大阪北部
地震

家屋、一部損壊多数

安全・安心のまちづくりへ総点検を

公的支援へ 国・自治体の制度 拡充へ運動を



大阪北部地震で共産党国会議員、地方議員は連携して現場に入り、被災者の救援、要望聞き取り、行政への申し入れなどに大奮闘しています。家屋被害・近畿約 5500 棟、大阪約 5000 棟の大半は公的支援のない「一部損壊」。制度の拡充が求められています。

●高槻市で宮本・田村議員 地面に亀裂「ローンで買った家どうなるか」

高槻市南平台の土砂災害特別警戒区域。宅地の土台が 3 ㍍ずれ、亀裂が各戸の地面に走っていました。宮本岳志（党対策本部長代理）、田村貴昭（同事務局長・九州ブロック選出）両衆院議員、宮原威大阪府議、高槻市議らは 22 日、現地に入り住民から聞き取りしました（写真上）。

36 歳の女性は「ローンを組んで購入した家の庭に亀裂が入った。夜は怖くて避難所に子ども 3 人と寝泊まりしている。家がどうなるか分からず死活問題。行政からの支援がほしい」。

34 歳の男性は、半年前に 35 年ローンで購入したばかり。庭に亀裂入り、家の中もドアが閉じなくなっています。「住み続けられるのがベストだがどうなるか。避難所たらい回しも困る」。

●倉林議員も 京都府南部で大きな被害が出ており、倉林明子参院議員は 21 日、京田辺市、八幡市、京都市西京区などを調査。「一部損壊への公的救済が必要だ」と話しました。

淀川堤防、10 か所で亀裂「出水期、万全な体制を」

宮本、田村両議員らは 22 日、淀川堤防に亀裂が入っている問題で国交省淀川河川事務所に聞き取り。亀裂は 10 か所（高槻市 2、八幡市 2、寝屋川市、摂津市、枚方市、宇治市、城陽市、伏見区各 1）に及んでいることを確認し、現地を視察しました。亀裂は最大で幅 3 ㍍、長さ百数十メートル。宮本議員は「住民は不安を募らせている。出水期であり万全の対策を」と求めました。

全国の被災地と連帯し政治動かそう

山下・辰巳議員 大阪北摂 10 市町議員団と懇談



党大阪国政事務所は地震被害の大きかった北摂地域の 10 市町議員団と懇談、被災の実態と要望について交流。山下芳生副委員長、たつみコータロー参院議員も出席しました。

水道耐震化への国補助、民間のブロック塀対策の必要性の指摘や「借家が損壊し出ていって欲しい」と言われている生活保護受給者などの例、ブルーシートを張れない高齢世帯の実情などが出されました。

山下副委員長は住宅被害について「一部損壊でも改修費用数百万円はザラだが支援策は何もない。生活再建は阪神・淡路大震災の経験から市民と野党の共同で実現した。

一部損壊支援は全国的焦点であり大阪で課題が浮き彫りになった。全国と連帯し公的支援実現へ運動でこじ開けよう」とのべました。また「カジノより耐震化を急げと迫ろう」と呼びかけました。

18 年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 33(2018.6.24)